

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 05	道路整備計画等運営事務	☐ 法定受託事務
所管課	都市整備部 都市整備総務課		評価者 都市整備総務課長 岩崎 信孝
一般	会計	款 45 項 20 目 5	
総合計画上の位置付け	分野名	道路整備	施策の方針名 道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等	意図	道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。
効果	交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	都市計画道路の整備促進 無電柱化を推進する市区町村長の会の事務局運営	都市計画道路の整備促進 無電柱化を推進する市区町村長の会の事務局運営	都市計画道路の整備促進 無電柱化を推進する市区町村長の会の事務局運営
予算額（千円）	48	55	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	48	55	0
当初人員配置数	1.0	0.9	0.0
人件費（千円）	8,537	4,273	0
事業実績	都市計画道路の整備促進 無電柱化を推進する市区町村長の会の事務局運営及び政府・民間との連携推進		
決算額（千円）	48		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	48	0	0
人員配置実績数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,283	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	神奈川県都市計画街路事業促進協議会等の出席回数	回	1	⇒	1		
	実績につながる活動	神奈川県都市計画街路事業促進協議会等に参加した。				45		
活2	指標名	無電柱化を推進する市区町村長の会の総会等の開催及び出席回数	回	4	⇒	4		
	実績につながる活動	無電柱化を推進する市区町村長の会の総会を開催するとともに、勉強会に出席した。				3		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	協議会等の運営、要望活動、関係機関との調整を継続的に実施しており、指標は達成されている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	都市計画街路の整備進捗率	m	0	↗	0			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	県の道路施策の優先順位に左右される。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	協議会運営を通じた取組は継続しているものの、実際の整備進捗や交通環境の改善など、住民が実感できる成果への波及は十分とはいえない。事業効果の多くは国・県の予算措置や関係事業者との調整に左右されるため、協議会活動のみで成果を左右することは難しく、現時点では「成果の基盤づくり」にとどまっている面がある。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	アウトプットは達成しており、協議会運営等を通じた調整機能は適切に果たされている。一方、アウトカム指標である都市計画街路の整備進捗率は、県の道路施策の優先順位等の外部要因の影響を受けやすく、活動の成果が整備進捗として現れるまでにはなお時間を要するため、アウトカムへの直接的な寄与は限定的である。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分にれている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方向性 ⇒	評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	アウトプットは達成している一方、アウトカムへの波及は限定的であるため、今後は重点箇所を絞った戦略的な要望・調整を強化し、整備進捗に繋がる取組を着実に進める。			上位施策への寄与度
				B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		本事業は、関係機関との調整や要望活動を通じて、都市計画街路事業及び無電柱化を推進する連携・調整型の事業であり、地域条件や整備状況、事業進捗が市ごとに大きく異なるため、他市との単純な比較にはなじまない。							